

生涯学習係「学校教育 × 生涯学習」～学校教育における生涯学習の視点～



<教諭>

群馬県教育ビジョンでは「持ち続ける視点」として、①「大人も、子どもも、社会的な“一人の主体”」と②「学校で、家庭で、地域で・・・自ら学び育つ、共に学び育つ」という2つの視点が示されていますが、学校の教育活動でどんなことを意識するとよいですか。

それでは、学校の教育活動においても生涯学習の視点を取り入れてみてはいかがでしょうか。利根教育事務所管内の実態を踏まえ、「群馬県の教育が目指す5つの学習者像」の中から、「自らが主語となる学び」、「対話と交流」、「社会課題を自分事化」の3つを取り上げ、生涯学習の視点と共通する部分をまとめてみました。



<社会教育主事>

【生涯学習の視点と共通する部分】（群馬県教育ビジョン総論より）

自らが主語となる学びをつくる

一方的に受け身で教えられるのではなく、子どもが自分で深く知ろうと取り組んだり、自分自身で取り組むべき課題を考えて、その解決に向けて必要な手段を探して、粘り強く取り組んだりできるようにする。

対話と交流により信頼関係を築く

学習者同士の対話と交流によって信頼関係を築き、協働した学びをより活性化させる。そのことにより、心理的安全を形成し、個人の積極的な発言や新たな挑戦しやすい環境を生み出す。

社会課題を自分事化する

子どもたちが地域に幅広いつながりを持ち、様々な地域住民と関わる中で、地域に育てられた実感を得たり郷土愛を育んだりしながら、社会の形成者としての自覚をもてるようにする。

「自らが主語となる学び」「対話と交流」「社会課題を自分事化する」この3点から利根沼田管内の地域学校協働活動について、具体的な取組を見てみましょう。



【利根沼田管内の具体的な取組】（地域学校協働活動）



【川田小学校】

沼田市地域安全課と連携しながら川田地区の防災について考える活動を、6年生の総合的な学習の時間の時間に編成しました。児童が考える地域の防災上の課題や避難所設営について学習し、まとめとして家族や地域の人を招いて「避難所開設体験会」を通して交流しました。地域の防災について地域住民も新たな気づきを得ることができました。

健康・安全等の教科等横断的な教育内容を地域の組織や住民と考える

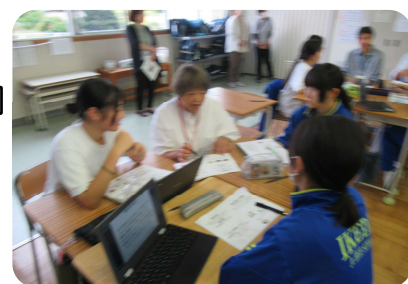
ポイント

ポイント

地域にある組織や計画を 自校の教育課程に生かす

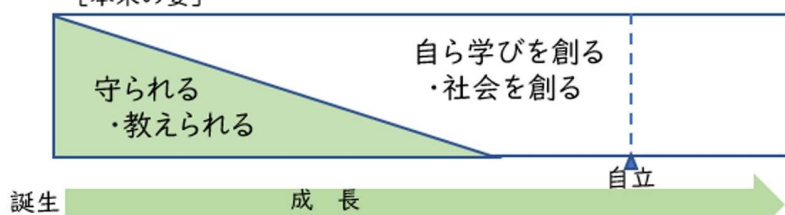
【池田中学校】

池田地区振興協議会が作成した「地域づくり計画」をぬまた未来創造学と関連させ総合的な学習の時間の全体計画を見直しました。地域の課題を考え、対話し、交流することで生徒は地域課題を「自分事化」し、「地域を活性化するために自分たちにできること」を地域に発信することができました。



【「自律した学習者」の育成のイメージ】

【本来の姿】



群馬県教育ビジョンでは、「自律した学習者」の育成について、発達の段階に応じて、子どもたちが自律して「自ら学びを創る・社会を創る」割合を増やしていき、スムーズに「自立」できることを目指しています。



学校教育と生涯学習を一体的に捉え、学校だけではなく、家庭や地域においても学び続ける環境を整えることや、社会課題を自分事化して、主体的に学び続ける態度を育むことで、生涯にわたり学び続ける児童生徒の育成につなげることができますね。

